

創立50周年記念同窓会開催

■日 時 平成3年9月22日(日) 午後1時～4時 受付12時～
 ■会 場 平河町マツヤサロン(菊華の間)
 千代田区平河町2-7-9 全共連ビル6F ☎3265-3301
 ■会 費 8,000円
 ■申込方法 同封の振込用紙(青色)を使用して送金
 ■締 切 日 8月20日

井草会会報

第23号

出席予定の恩師の方々(順不同 敬称略)

- 現職員 江渡大輔 小川敏子 松沢亮
 滝口輝男 加藤晴紀 久保田清二
 神田亮一 鈴木政之 戸叶美代子
 名倉敏生 長津平二 橋本洋介
 藤本勤 宮崎順介

旧職員

- 青山兵吉 青山千代 赤塚義
 荒木豊 天野敏雄 荒田政和 小出光
 畷森敏 岩崎英子 岩淵育男 平博徳
 田中正 大浦暁生 大沢清男 竹本昭
 篠利彦 大隅芳秋 岡垣克巳 本庄寛
 横田昭 桑幡昌典 小島立一 若林覚
 淵脇晃 小倉義文 鎌田敏雄 吉瀬勲
 佐野森彦 武林一成 小田島哲哉
 飛岡正治 刀禰勇巳 天野さゆり
 中島義行 西原正道 福島美恵子
 平井英一 福島達雄 藤原さきみ
 松井智子 松原保久 三柳将明
 宮崎茂樹 村田千鶴 毛利和夫
 森田稜二 吉永甫枝 和方富子

(5月末日現在)

実行委員が企画しました。

記念同窓会実行委員長

遠矢 良隆 (6A)

出席の皆さんへ

・五十周年記念誌
 ・テレホンカード
 ・抽選会もあります。(すばらしい賞品)
 ・みんなで歌うなつかしい校歌(旧・新)

申込方法

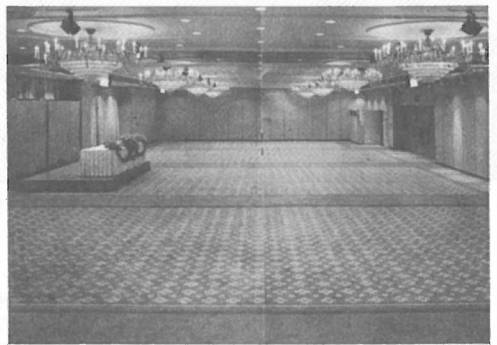
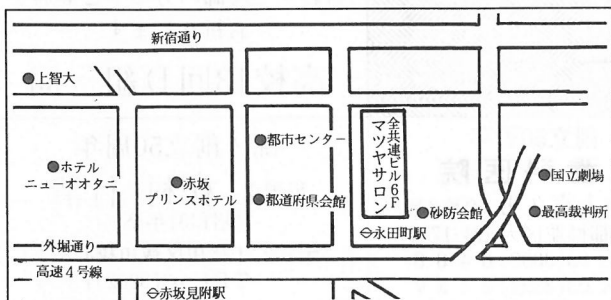
同封の青色印刷の振替用紙に住所・氏名・卒業年度を書きこみ八千円(振込料コミ)をそえて郵便局へ。受取書は入場券となりますので、紛失せぬよう当日ご

持参下さい。

取り消しの場合

申込み後、急にご都合が悪くなった場合、事務局・隆野豊子(〒150 渋谷区恵比寿南3-10-14) 電話〇三(三七一〇)七二七(夜間)まで連絡下さい。九月十日迄は会費の半額をお返しし、記念品をお送りします。それ以後は会費はお返しできませんが記念品をお送りいたします。

■地下鉄 永田町駅(有楽町線・半蔵門線) 4番出口より2分
 赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)赤坂見附方面出口より8分



マツヤサロン

地理 田中 正

①井草の後、数校の校長を経て、三鷹市の初代教育長となり、市政功労者として市の名誉市民になっております。今年八十四才で、元気でおります。

②昭和十六年二月一日東京府立第十八高等女学校が認可され、私は二月十三日に発令、第一回生によい生徒を集めるため府内の小学校を回りました。入試問題の作成・準備と大変でした。入学試験は鷺宮の仮校舎で、広瀬政次・杉山文雄・青山兵吉各先生と四人でした。勉強にスポーツに明るく伸び伸びとした生徒達でした。校地は九千六百坪。高橋様の畑を交渉して求めました。表の方が坪十三円、裏の方が十一円でした。校名を井草としたのもいろいろ考えた結果です。

家事 赤塚(岩泉)義

①今年80才になります。ひ孫4人。

②昭和初期の自分の育児記録 ③戦中、一回生が書いた「用務員さんの赤ちゃん(写真)のお宮参り」の作文集 ④戦後、無認可保育室を開いた記録をまとめて夏までに本にしたいと思っています。

特集

【質問内容】

- ①先生のご近況
- ②井草にお勤めの頃の印象深い思い出
- ③井草の校風は「自由」だといわれていますがどう思いますか

②運動場を畑にしてサツマイモを作り、芋だけでなく茎や葉も料理したこと、

料理実習の材料がなくて線路ぎわのスギナをとってきて天ぷらにしたことなど—これは私のあだなになったようです。③第6高女(現三田高校)の丸山先生が自由主義の教育をされた方で、第6高女卒業の先生が井草高に私を含め数人いらつしやうたことが井草に自由の気風をもたらした始めではないでしょうか。



当時の赤塚先生と
石森保男ちゃん

③最近の校門庄死事件、いじめによる中学生の自殺事件等々、今日の日本は、教育も教師も生徒も共に病んでいると思う。井草の校風は健康であった。創立後四年目に迎えた戦後の社会は、旧制度が崩壊して新しい民主的なものを求める時代であった。学校も新しく先生方も皆、年若く新時代へ向けての理想に燃えていた。井草という新設校を胸に抱いて、その師弟共通の熱情を拘束したり、抑圧したりする旧いだけの制度は存在しなかった。師弟共に歩んで行つた後に、道ができたと考えてよいと思う。田園の風景の只中に建てられた木造校舎、樹林に畑に四季の推移を満喫できる風土が、井草の自由を育くんだった温床になったのではないだろうか。

国語 戸村(藤田)静子

①娘二人も社会人になりました。長女には小学生の孫が二人、共に女の子です。私は大東文化に週二回出て中国語の授業をしています。おかげさまで元気で。

②それは日本が敗戦を選んだ日です。当日、午前中は米国の艦載機が数機、東京西郊の上空を飛んでいました。指示があつて私は、動員されていた軍需工場から生徒は残して学校に行きました。八月の炎天下、校庭に一年生だけが並んでいてラチオの重大放送を聞きました。雑音がひどく聞き取れません。放送の後、初代の廣瀬政次校長が「……………」日本は蒋介石に負けたのだ」と叫ばれ、一同やつと分かりました。瞬間、全体师生が声を放つてエンエン泣き始めたのです。私は「今後、この泣き声は何十年続くだろう。敗戦国になったのだから」と思いました。



井の頭公園にて

英語 三上 てつ

①二年前腰を痛めて、以来歩行に一寸不自由しています。去年白内障の手術をして今までになく良く見えるようになりました。本を読む事が楽になったのは感謝です。人生最後の瞬間まで勉強を続けたいと張り切っております。

創立 50 周年 — 井 草 会 —

母校の創立50周年を祝い
あわせて恩師の方々のご健勝を
お祈りします

高校13回D組一同

小関グリーンゴルフセンター
代表取締役 田中 利夫
(高校第5回 昭和28年卒)
練馬区石神井台8-18-33
03-3920-0562(代)

祝・創立50周年
中上歯科医院
歯学博士 中上喜久男(高校8回)
〒167 東京都杉並区天沼3-17-17
TEL 03(3392)6488
FAX 03(3392)6427

祝・創立50周年
税理士 松村 行清
(昭和31年卒)
〒102 千代田区飯田橋4-8-4
TEL 03(3262)1266

今年、創立50周年を迎えた母校の校風の一つは「自由」だと言われてきました。

そこで今回、何名かの先生方に、井草の「自由」についてご意見をお伺いしました。先生方の近況と合わせて報告いたします。

事の時も、紛争の時も精一ぱい動いていたいと思います。

③井草の人達が早くから自由の問題にとり組んで、それなりの考えによって行動していた事は大変よかったですと思います。

自由を主張する時、ともすると自分中心になりやすいものです。「自由は他との関係に於て考えられるべきもの、自己を厳しく律する事の出来るだけが持ち得る心の状態です。井草が正しい意味での自由な学校であり続けて欲しいと思います。」

①退職して六年目、気随にやっています。今は週三日山川出版社に出かけて、日本史大辞典編集の手伝い。これは完成まであと三、四年かかりますが、この間、日本の近現代史(新書版・聖文社)を書いています。秋ごろ書店に出た折にはよろしく。

社会 毛利 和夫

②勉強もさることながら、クラブ活動や夏季行事の方が楽しかった。演劇部、映画部や「井草新報」の発行など、生野先生が毎夏行われた地理の研修見学旅行、

白馬岳や金峰・瑞牆山登山も有意義なものでした。

③昭和30年代のこと、社会情勢がちがうので、いちがいには云えないと思いますが、確かにそのようでした。学校を活性化しようとする校長さんの考えと、先生方が若かったことがあったと思います。

元校長 真田 幸男



真田元校長

②私が赴任したのが昭和30年、井草はまだ若い学校だった。そういう私自身が40代の後半、正月の始業式に「私も今年は四十八歳、大いに抵抗してみせる」などと大見栄を切ったことがあるのを憶えている。共学になってまだ数年、数で劣勢の男子が、運動場の片隅にかたまっ

よぼしよぼと弁当を使っている風景もあった。この男の子たちを元気づけるのが学校の課題、多数派の女子もこれを歓迎してくれた。サッカーで優勝して全国大会に出たり、登山隊が上高地で遭難しかけて肝を冷やしたり、思い出は尽きない。60年安保で血まみれの生徒が帰ってきて大騒ぎしたことなどもある。但しこれは他人の血を浴びただけで、本人はまったく無疵だった。何やかや潑刺とした5年間、わが校長歴の中で最もいきいきとし

楽しい学校だった。

物理 林 常雄

①渋谷の住所は貸事務所にして、東大和市清水5-9-23-16に転居、夫婦二人で年金生活といったところ。

②井草には昭和31年4月から59年3月まで、長年勤めました。印象深い思い出が多いが、火災のこと封鎖のこと、学校群制度などに関する事、その他個人に関する事は沢山ありますが公表はできません。

③井草の自由については、生徒が感じていたことで、多くは卒業後、大学等で他校の友人との交流で、他校との比較で認識したものと思います。人によっては放任主義のように見えます。私は決して放任したとは思いません。

たとえば、暴力とか、カンニング、窃盗など破廉恥行為には厳しく指導していました。日常生活に関する事、思想、人権に表現などは自由だったでしょう。



おそろいでお花見の林先生

堤の桜・櫛のみどり
井草の思い出を永遠に
昭和18年入学 **十八会**
(高女4回・高校1回生)

雪洲流いけ花
表千家看月庵茶道
教授 **岡安敏子** (昭27年卒)
東京都練馬区石神井町3-12-8
(03)3996-0353

祝 母 校

同窓生のご活躍を祈っています
税 理 士
高坂達郎 (昭和44年卒)
〒272 市川市鬼高2-21-31

祝 50 周年
米国ニューヨーク州
アインシュタイン病院勤務
庄 司 亨 (昭和55年卒)
20 River Road, 17G New York, NY, 10044

第十八高女
井草高等学校
創立五十周年
記念行事
報告

- 廣瀬政次 昭16／20
- 16・第十八高女設立認可
- 17・井草高女と改称 20・終戦
- 杉山文雄 昭21／26／9
- 25・男女共学・10周年式典・新校歌
- 高柳一二 昭26／10／30／9
- 30・体育兼講堂竣工
- 真田幸男 昭30／10／36／3
- 35・20周年式典・同窓会館建設
- 藤井茂 昭36／4／40／3
- 38・10クラスに増級
- 前島寿一 昭40／4／44／3
- 41・25周年式典・からまつ山荘建設
- 42・群制度発足(34群)
- 飛岡正治 昭44／4／48／3
- 46・プール竣工
- 桃原良治 昭48／4／52／3
- 49・現体育館完成
- 新井鎮夫 昭52／4／54／3
- 渡辺久男 昭54／4／54／7
- 清水庫之祐 昭54／8／59／3
- 57・グループ制度発足(32グループ)
- 眞森敏 昭59／4／62／3
- 59・木造校舎消滅
- 高部正 昭62／4／平2／3
- 63・同窓会活動再開
- 滝口輝男 平2／4／
- 3・50周年式典

数学 西野清太郎

①狭山丘陵の雑木林を毎日散歩しています。多摩湖畔を自転車でもわたり、悠々自適つとこかな。
 ②ガツガツした上昇志向とは無縁、八方やぶれみたいな、しかし健康で明るい気持ちいい学校でした。生徒諸君も先生方もみんなよかったです。ぼくも若かったし、生徒諸君といっしょに学校生活を楽しんで、まあ趣味で教師やってみたくて、あれで給料もらったのわかったみたいです。
 ③ありふれた一、二流校になってほしくない。いつまでも自由でたのしい井草でいてほしいけど、いまのランク社会では無理かなア。

生物 松原 保久

①都立高校長をやめて、現在筑波大学教授として頑張っています。学校経営研究



松原先生

英語 淵脇 晃

を中心に教育法規などを教えています。四月十八日にはソ連大統領ライサ夫人が附属校に来校されます。併任校長としてお出迎えをする予定です。
 ②私にとって最後の担任をした学校です。朝早くから補習をやったり、どんなときにも都立高で最高の授業をしたいと張り切っていました。一人一人の教え子の顔は一生涯忘れません。私の宝です。
 ③自由を謳歌していますが、責任の併わない自由はありません。自己管理の出来ない人間に自由だけを口にする資格はないと思います。社会に通用する常識と、変化する時代に対応できる人間性を是非身につけて下さい。



雨中故郷の霧島登山の淵脇先生

①この三月三十一日で、八王子市立陵南中学校長を最後に、三十七年間の教師生活を送りました。現在、東京都立石神井養護校に嘱託員として、勤務しています。

す。
 ②どれか一つ挙げるとすれば、やはりあの学校紛争のことです。大変苦しい経験でしたが、又大変充実していた時期でした。大変貴重な一時期でした。
 ③「自由」はとかく「だらしなき」や「わがまま」に通じるところがあります。その「ケジメ」が大変難しいところだと思います。真の意味での「自由」を、追求してほしいと思います。

祝五十周年

先生方のお便りから近況を抜粋しました。
 池田(内山)シゲ 昭和16／17年でした。なつかしい井草高校です。八十二才になつてしまいました。

磯崎喜之助 過ぎし日の恥ずる事にこだはりて とらはれぬ道のあらまほしか

内山(佐野)文子 併設中学時代にごく短期間務め、南多摩高へ移りました。50周年おめでとうございます。

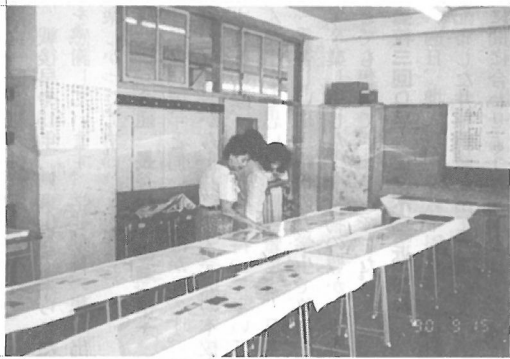
坂内(鶴飼)貞子 年をとりまして血圧が高くとこにも出掛けないうちです。

同窓会の盛会をお祈りします。

大塚実 井草には昭和18年度のみ勤めしました。国立高に20年勤めてやめ、物理実験の器械を作っていました。今は殆んど遊んでいます。八十二才です。

古屋(小林)尚子 4月にバイクにつづいたら左足骨折、入院中です。

要 春光 同窓会に出席したいのですが、9月には今勤めている北海道武蔵女子短大の来年度の入試説明で全道を回っておりま。皆さんよろしく。



井草祭へ今年も参加!

展示会 9月15日・16日 体育祭 18日

昨年の井草祭に同窓会として参加し、普通教室で展示とお茶席を用意したところ、百五十名もの同窓生が立寄って下さり、つめている幹事とたのしい語らいのひとときを持ちました。

「今までは来ても卒業生の居どころがなかった」「友人に会えたり、新しい名簿をみせてもらって良かった」などの感想がきかれ、大変有意義でした。

今年もまた、級友との待ち合せ等に利用出来るように一室用意しますので、母校の後輩の活動の様子を知りたい人、ふだんは学校には来にくいと思っっている人等々、秋の連休の一日をなつかしい井草に足をむけてみて下さい。

日時 九月十五日(日)、十六日(月)
午前10時～午後3時
会場 未定
内容 展示と野点

井草会年会費(二千元)

納入のお願い

(平成三年度、平成四年度分)

井草会の会費は一人年千円となっておりますが、皆様の手数を省くため、二年分を一括して二千元を納めていただくことになっております。

井草会の活動資金の大半は、皆様から納入される年会費ですが、毎年の決算報告書を見ての通り、その額は誠に心もとないものです。

資金不足がいつまた井草会の活動低下を招かないとも限りませんので、同封の振替用紙(赤い用紙)をご利用になって

平成2年度決算及び平成3年度予算

平成3年3月31日現在

収入	子 算	決 算	3年度予算
繰 越	3,502,450	3,502,450	869,039
積立金より			1,000,000
入 会 金	900,000	953,679	860,000
会 費 & 寄 付	1,000,000	2,395,440	3,000,000
雑 収 入	20,000	54,725	50,000
計	5,422,450	6,906,294	5,779,039
支 出			
会 報 通 信 費	800,000	811,208	1,000,000
会 報 印 刷 費	500,000	666,678	800,000
振 替 手 数 料	60,000	44,760	60,000
幹 事 会 活 動 費	400,000	570,584	700,000
幹 事 会 通 信 費	150,000	276,569	350,000
名 簿 メ ン テ ナ ンス	103,000	103,000	103,000
名 簿 積 立 金	400,000	400,000	400,000
50 周 年 積 立	1,000,000	0	0
母 校 寄 付	2,000,000	2,000,000	500,000
50 周 年 活 動 費	0	1,164,456	1,800,000
繰 越 金	9,450	869,039	66,039
計	5,422,450	6,906,294	5,779,039

平成3年4月1日現在 財産目録

名簿積立金 ¥ 1,200,000-(昭和63年度~平成2年度分)

寄付もよろしく

一人でも多くの方が会費を納入下さいますようお願いいたします。
なお、事務処理上、二千元以上送金下さった場合、残額は寄付金とさせていただきます。

毎年多くの方々からご寄付をいただいておりますが、今年度も会員からの寄付金を募集いたします。一口千円で何口でも多数の方のご協力をお待ちしております。
ご寄付下さった方の御芳名は次回会報でご報告させていただきます。

井草会からのお願い!! コード番号をご記入下さい。

井草会会員には「井草会会報」の封筒の宛名の下に記入されているようなコード番号がついています(例えば「S25-88114-00125001-7」のように)。

この内、太字で示したS□□-88114-□□□□-7は全員共通の数字で、細字の「00125001」が個人の番号です。「S25」は昭和25年3月の卒業を意味します。「H□」は平成□年3月卒業を現わします(この数字でご自分の卒業年度を確認して下さい)。

そこで今後、会費納入時及び井草会への連絡の場合には、氏名、卒業回数と同時にこの個人番号を必ず記入することをお願いします。

(上記の例ですと「S25-00125001」というように)。

高女一回2組 仲代(臺地)啓子
戦後早や45年、無事生きて来られたことを感謝しています。学徒動員の思い出も楽しかったです。

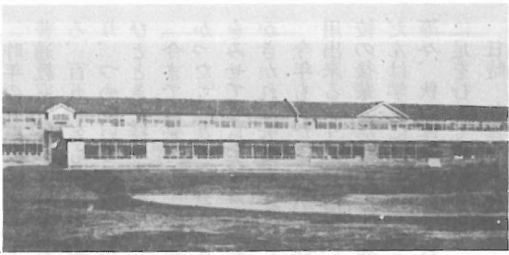
高女二回3組 長谷川(一の瀬)禎子
創立50周年と伺い驚くばかりです。鷺宮の仮校舎から上井草の未完成の本校舎へ移転の際、机や椅子を持って歩いて運んだ事など思い出し感無量です。日本の一番苦しい耐乏時代の女学生で終戦の翌年卒業しました。今の物の豊かな日本をとても想像できませんでした。

高校三回D組 佐々木(宗近)正枝
過日、押し入れから十周年記念式典に配布した井草新報が出てきました。当日に間に合わせようと夜遅くまで頑張った新聞作りを思い出しました。

高校五回C組 渡辺幸子
昭和27年頃、現在注目されている土曜日授業なしで、校外活動を一年経験しました。校門閉鎖もなく、中庭にきれいな花壇が人々の目を楽しませ、ぎすぎすこせこせしないのが校風だったように感じます。

高校五回E組 長田規子

会報はいつも楽しみにしています。年会費は安すぎ



るように思います。二千元にしては如何でしょう。

第四回C組 滝下(高橋)佐千子

福島先生の回想をなつかしく拝読、英語の授業で単語調べに追い立てられたアノ頃をなつかしく思い出しています。

高校五回E組 鈴木(服部)とし子

井草といえ草の中、夏休みに草と埋ってしまふ、あの畑の中の校舎が懐しい。石神井高校と混声合唱で日本一になったこと。現在も地元で第九合唱団に入っています。

高校十回A組 石橋(原)通子

木造校舎の出窓の受付で入学手続をしたのも昨日のように思い出されます。

高校十一回D組 田部井宣雄

記念同窓会は私の職場の文化祭とかさなり出られないのが残念です。男子バレー部は私達十一回生が作った部です。谷栄一先生によりしくお伝え下さい。

高校十一回A組 高田(高野)ヨシ子

私、長男、長女と三人も卒業生、50周年をたのしみにしておりませう。

高校十一回E組 山本(鶴岡)嘉子

真田先生が卒業式の時おっしゃっていた「振幅広く生きてほしい」ということを時折懐しく思い出しています。

高校十二回D組 森(莞智)洋子

自分が何回生であったかを覚えている

人は少ないのでは、何回生といわれても時代の流れがピンとこず、別世界のようで親しみがわきません。卒業年度で表わした方が解りやすいのでは。

高女五回C組 有馬歌子

生活に追われて勉強はしませんでしたので、今風にいえば落ちこぼれでしたが健康で社会で働いてこられました。平和の尊さを何よりも有難く思います。

高校十四回A組 中村(渡辺)理恵

昨年クラス会で二十数年ぶりに井草へ行き、昔の面影が残っていたので嬉しく懐しく感激した一日でした。

高校十五回B組 隅田 誠

私の場合「文芸」というイメージで母校を思い出します。そしてそれを育てて下さった諸先生、仲間、それに武蔵野の環境にお礼申し上げます。

高校十六回A組 坂倉(加藤)博子

会報ののつていた上井草駅、駅前の店で時々「氷」を食べたっけ。学校までの寂しい道を「恋人たちの道」なんて呼んでロマンチックな気分ひたつたっけ。

……なんて、昔を懐しく思い出しました。

高校十六回A組 野島昭生

小生は声優の仕事をやめ、大分県の山奥で無農薬・有機肥料で田や畑を作り、半自給自足の生活を送っています。晴遊雨眠です。

高校二十三回D組 栗山(綾部)恵子

同窓会費を終身会費という形でも考えていただければ幸いです。

高校二十八回E組 岡田(森田)洋之

二十五回生の荒井先生と、ここ酪農の地北海道で酒を飲むたびに井草の話をしています。

高校三十回E組 鈴木宏二

青年海外協力隊で二年間マレーシアへ行つて二年四月に帰国しました。

高校三十二回A組 鈴木真由美

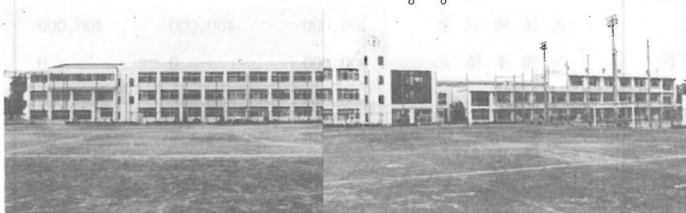
会報で同期の磯さんの文を拝見しました。私も川崎市内の私立女子高で社会科を教えており、超新人類(?)と毎日暮していますが、母校の後輩とわが教え子の姿がグブつたような気がして、確実に変化していると思えます。願わくば、その変化がプラスの変化でありますことを。

高校三十二回H組 佐藤(佐々木)正美

私・妹・弟・主人の弟と計五名もの井草卒業生が兄弟になつています。このような関係は私だけかしら……。

高校三十五回B組 石塚(三浦)由記子

井草祭には何回か行つてますが、顔見知りの先生も少なくなり、私のいたワンダーフォーゲル部もなくなつてしまつた



回想

感想

一言

そうで淋しいです。でも今年も子連れで行き、同窓会の展示もみたいです。

高校三十六回E組 小島奈美

井草高で教育実習をさせていただいたおかげで、念願の教職に就けました。自分の高校時代が思い出されます。

高校三十八回C組 氏家雅美

同窓会参加費が若い私たちにはつらいですね。卒業生でホテルの経営者はいらっしゃらないのでしょうか。

高校四十一回D組 柴田絵里

体育祭の応援団が存続の危機を迎えているときなのですが今年はどうだったのでしょうか。いつまでも「一生懸命の応援団の姿」が存在してほしいのですが。

クラス会便り

高校四回C組 わが組は卒業以来三十八年間、毎年クラス会をもち、梅木先生をお招きして親交を重ねております。

(植村雅子)

高校五回A組 2年4月、数年ぶりにクラス会を持ちました。横田・大沢両先生にご出席いただき、なつかしい顔が揃い楽しい一夕でした。(野沢ユキ)

高校七回A組 2年11月3日、中野「ゆたか」でクラス会をしました。若たしい戸村先生を囲んで十八名参加。

(大村洋子)

高校八回A組 毎年クラス会を開催して十五年続いています。昨年は20名以上も参加しにぎやかでした。(平山勲)

(菱伊敏子)

高校十一回B組 三・四年に一回やります。5月26日に京王プラザでしました。いつもクラスの半数は集まります。

(浅岡恒雄)

高校十四回A組 数年毎に開き、前回は時としても楽しく参加者全員午前様になりました。

(関根賢三)

高校十四回E組 3年5月18日半蔵門会館で担任の大沢先生の古稀のお祝をしました。35名も参加し、記念文集も作りました。

(脇東江)

高校十五回A組 元年12月 卒業25周年のクラス会を新宿聚楽でおこないました。15名参加

(小杉弘江)

高校十七回B組 2年8月26日にクラス会をやりました。久々に級友に会えて愉快な時間を過ごしました(鈴木明)

(藤川由美)

高校三十二回E組 2年5月に新宿で行ない、室岡先生はもちろん、連絡のとれなかった四・五名を除くほぼ全員が出席、嬉しい限りでした。



高校7回A組と戸村先生

生物部OB会

阿部陽子(34)

生物部OB会はまだ活動を続けています。とはいえ、高校卒業直後の大学生が大半を占めていた一時の勢いは衰えてきてはいますが、春のOB総会、初夏の名簿発行、夏の合宿等はOB会行事として毎年欠かさず行なっており、その他有志で井草祭の見学にいたり、忘年会をしたり、星を見る、あるいはスキーをするなどのツアーも毎年行なっています。生物部OB会と言っても生物部発足以来の全部員で構成している大きな組織ではなく、盛衰の波で自然と区切られてしまった(どこの部にもある現象だと思いますが)S53-62年の卒業生のうち、高校を卒業してもまだ同じ仲間遊び足りない!/という意思表示をした人達約50人で構成しています。そもそもこのOB会が集まり始めたのは、S52年の夏から生物部の研究テーマとして開始した「湯の丸高原における野ネズミの生態調査」を卒業してもまだ続けたいという人達が現役の高校生と一緒に、あるいは少し時期をずらして調査を始めたのが発端です。その後、現役生物部の研究テーマが「野ネズミ」から「山中湖の水質調査」に変わったので、OB会で「野ネズミの調査」を継続することになり、そのときのメンバーが中心となってS57年にこのOB会が発足しました。

「野ネズミ」の調査地点が湯の丸高原になったのは、そこに井草高校寮の「から

まつ山荘」があったからだなのですが、諸般の事情により、S63年からは湯の丸高原から車で15分程の鹿沢国民休暇村の貸別荘で自炊しながら調査を続けています。

考えてみれば「野ネズミの調査」も今年で15年目になり、1年目からの参加者は人生の半分の年数、この調査を続けていることになりました。この調査を継続することには内部にも賛否両論あり、合宿において継続するかどうか毎年討論されており、10年以上参加している者にとっては年中行事の一つになつてしまひ、「野ネズミの調査」に参加しない夏を越せないような気持ちにさえなつてしまつているので、当面は継続することに成りそうです。

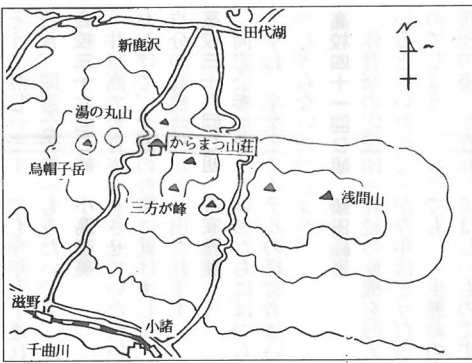


「からまつ山荘」は今……

原生林と高山植物にかこまれた湯の丸のからまつ山荘は、学校の創立二十五周年を記念して、昭和四十一年当時のPTAの力で建てられた井草高校の山荘です。十八回以後の卒業生の皆さんはよく知っていることと思います。

本校職員、生徒のみならず、旧職員、卒業生、その家族等も利用できます。宿泊料金は一泊一食つきで三千円前後。しかし、ここ数年老朽化がはげしく、それに従って利用者も減ってきています。維持、管理がむずかしくなってきたので、学校では五年後をめどに取壊して土地を返還するか、建てかえるかを検討しています。前者になると以後は利用できません。クラス会、グループ、ご家族で利用されるようおすすめします。

詳細は母校事務室にお問合わせ下さい。



左記の方々の住所が不明です。ご存知の方は井草会までご連絡下さい

高校32回(昭和55年卒業)

A組 担任・荒田政和先生

宇野 浩之 成相 仁志

竹内 克枝

佐藤 森京子

B組 担任・滝山常男先生

相子 和也 浅津 徹

尾川 謙一 土肥 健三

八巻 哲郎 井上 朋世

小松久美子

石井(桜井)直子

C組 担任・河西章夫先生

勝沼 大 五来 浩

野田 修 原田 広行

山田 裕 岡 郁子

D組 担任・西浜妙子先生

有賀 成一 伊藤 律雄

林 亮太 野口 匡子

久保寺(玉野井)晴子

宮本(渡口)肇子

E組 担任・室岡和彦先生

稲葉 克彦 志村 明彦

西村 容子 二村 京子

F組 担任・加藤成伸先生

赤津 利昭 伊藤 琢磨

松原 幸輝 新田かおり

G組 担任・水野正良先生

石川 元秀 庄司 政満

濱田 和将 藤井 裕之

森本 広之 増川亜佐子

小林(中野)純子

山崎(服部)純子

竹居(原口)和子

小野(福田)由美子

H組 担任・江渡大輔先生

今井 利宏 鍛冶 一誠

蓬田 二郎 笠間美樹子

I組 担任・佐野森彦先生

石山 茂明 江田 公久

高田 義直 中沢 恒喜

藤川 拓也 根本 浩之

大塚 亜紀 田中 弘子

藤井勢津子 山口ちひろ

A組 担任・湖脇 晃先生

石本 浩一 岸村 正実

田村 直人 父田 宏行

塚村 和憲 中村 正意

井口久美子 井上 昌子

嘉藤 弘子 金丸 妙

清水 玲子 田本 ゆみ

長島 明子

B組 担任・山本光子先生

青木 治雄 桑本 英樹

井沢栄美子 辻道 明子

大山岩沢 美奈子

高野(高橋)牧子

伊藤(藤江)由紀子

C組 担任・若林 覚先生

鈴木 毅彦 高椋 秀幸

立花なおみ 西山 治代

菅原 啓之 樋口 幸樹

三輪 時男

E組 担任・大畑起男先生

大沢 洋 寺尾 公一

宮元 純子

F組 担任・植田隆之助先生

浅沼 健 木田 伸一

友部 豊 細萱 俊之

本田 治久 河村 静子

小田(梅田)知子

雪田(鈴木)啓子

小宮山弥生 田中 朋子

G組 担任・谷栄一先生

金子 貴昭 桜井 浩志

関根 良秋 竹内 保徳

H組 担任・川口久美子先生

中村 正意 今井 隆也

井上 昌子 有賀 玲子

溝口稚佳子

I組 担任・渡部正輝先生

内山 豊 比留間一徳

中村 美樹

長谷川(武藤)浩美

高谷41回(平成元年卒業)

A組 担任・江渡大輔先生

菅井 哲哉 中川 秀紀

小野真由美 斎藤ふみ子

新谷 聡美

B組 担任・鈴木政之先生

佐藤 靖

飛田 智 早川 亨

中里紀和子 並木 圭子

E組 担任・神田亮二先生

柴崎 昴子 山本 理恵

F組 担任・渡辺隆先生

秋山 裕生 池田 貴子

G組 担任・橋本洋介先生

北沢 浩幸 佐藤 聡

橋爪 淳 山口 義徳

池本安芸子

I組 担任・金城和貞先生

青木 伸浩 久渡 敦子

()内は旧姓です。

先生往来

〔離任〕 ()内は転任先

大畑 起男先生(秋草学園校)

加藤 成伸先生(久留米高校嘱託)

森本 泰三先生(北野高校定教頭)

川口久美子先生(豊島高校)

金城 和貞先生(杉並高校)

〔着任〕

田子 雅子先生(国語)

福田 修一先生(社会)

大場 和仁先生(保体)

長津 平二先生(保体)

海老沢 徹先生(理科)

染谷 弘先生(数学)

住所変更等をされた方は必ず井草会までご連絡下さい。

井草高校五十周年記念式典挙行

実行委員長(兼司会) 名倉敏生

卒業生の皆さん、お元気ですか。母校井草高等学校は数年前に校舎を増築し、思い出の木造校舎は見られなくなりました。

校門も幅広く改修し、面目を一新しています。春に咲く八重桜は以前と同じに井草を飾ってくれますが、古木の一部は若い木に植えかえています。

この都立井草高等学校も卒業生の努力で大きく成長し、平成三年二月三日に創立五十周年を迎えました。昭和十六年府

立第十八高等女学校として開校してから五十回目の創立記念日でした。

を盛大に挙行する計画が進んでいますが、学校でもこの五十周年を祝うべく昨年から五十周年行事実行委員会を組織して活動を始めました。実行委員としては全体制同窓会長・副会長・定時制同窓会会長・副会長・PTA役員及び学校側の四者です。月一回程度の連絡、協議会を開きながら次のような記念行事を決定致しました。

五十周年記念式典
日時 平成三年十月十二日(土)

午前十時より
場所 練馬文化センター

約一時間程度の式典の後、吹奏楽部による演奏と、卒業生数名による記念演奏を予定しています。出席者は在校生、職員、来賓など千五百名位になり、会場の都合で同窓生を御招待できないのが残念です。

またその日の午後、PTAによる祝賀会が開催されます。



計報

- 渡部 恒男先生 平成二年二月二十八日
- 山口 よしの先生 平成二年八月二十二日
- 谷 栄一先生 平成二年八月二十二日
- 藤原 カノ先生 平成三年二月四日
- 千野 政長先生 平成三年四月八日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

五十周年記念同窓会も目前にせまり担当委員一同準備に大忙がしです。あとは皆さんが多数参加して下さい。ことをおまわすのみです。

特集「井草の自由について」先生方から非常に含蓄に富んだ回答をいただきました。ご熟読の上、特集についてのご意見をお寄せ下さい。

発行者 井草会会報委員会

東京都立井草高等学校内

(練馬区上石神井一丁目四三三)

電話 〇三三九二〇〇三三〇

郵便局振替 東京2184359

平成3年卒業生進路状況

現役、1・2浪を含む合格延べ人数です(4/26現在)

国公立大学	北海道	1	私立	亜細亜	10	短期大学	実践女子	6	
	室蘭工業	1		東海	10		東洋大	6	
	東京外語	1		工学院	8		学習院女子	5	
	東京農工	1		駿河台	8		東洋女子他	5校	
	金沢	1		独協	8		都立医療技術他	7校	
	山口	1		明治学院	7		都立商科他	9校	
	東京都立	2		教	7		東京工芸他	18校	
	横浜市立	2		立正	7		小計	147	
	小計	10		立	6		専門学校	情報・ビジネス	14
	私立大学	日本		30	大			青山学院	6
東洋		28	東京電機	6		工学系		11	
大東文化		26	明星	6		芸術・デザイン系		10	
東京国際		20	国士館	5		外国語系		6	
駒沢		20	東京農業	5		調理系		3	
専修		17	武蔵野音楽	5		その他		4	
中央		17	東京家政他	9校		小計		62	
明治		17	日本体育他	5校		就職		国家公務員	3
城西		14	女子栄養他	12校				地方公務員	3
成蹊		14	関西他	45校			自営業	5	
法政	13	小計	497	会社	4				
早稲田	13	十文字学園	16	美容院	1				
帝京	13	武蔵野女子	10	小計	16				
東京経済	11	大妻女子	9	短期大学					
武蔵	10	跡見学園	8						

次の方々より井草会へご寄附をいただきました。有難うございました。
 なお、敬称は略させていただきます。(一)四千円 平成三年五月一日現在)

西山と志	八口	井出	富子	山口エ子	一口	杉浦	章子	工藤	登代子	十口	前田	このみ	森	邦宏	三三	野原	孝士	一口	
水野常子	三口	吉田	友子	鈴木	久江	麦浦	豊	佐藤	真建	十口	藤島	秀憲	廣田	精一	三三	高田	秀和	三三	
荻原富貴江	三口	望月	好子	長田	規子	塩飽	征乃	弟	九十九郎	二十口	松平	和賀	佐藤	健司	一口	船見	千恵子	一口	
林 いは	三口	尾島	正恵	田村	祥子	井上	靖子	山本	悦子	一口	吉越	美津子	内田	美佐子	三口	伊藤	裕	一口	
露口敏子	三口	石井	利子	和久沢	博子	龜坂	公恵	大沢	紀夫	一口	小松	浩	二口	大塚	章子	一口	伊藤	和正	三口
宇賀絹子	三口	原田	多美子	篠田	淑子	近藤	精孝	岩坂	三子	一口	高山	和雄	五口	矢島	麻由美	一口	伊藤	佳子	一口
(高女四回生)		佐藤	美代子	田中	幸子	飛田	浩子	山崎	三千代	一口	矢口	静恵	五口	黒沢	康子	二口	推塚	智恵子	三口
岩田道	八口	岡田	瑞賀	鈴木	和子	斎藤	婦佐子	鈴木	護	三口	佐藤	峯子	一口	黒沢	康子	二口	黒沢	康子	二口
今井早苗	二口	(高校三回生)		阿部	妙子	浜村	芳子	宮武	信子	十口	佐藤	峯子	一口	平田	英二	一口	平田	英二	一口
市原康子	三口	城川	勢以子	村上	悦子	本間	久江	宮武	信子	十口	高橋	道正	一口	高橋	道正	一口	高橋	道正	一口
川崎知恵子	三口	阿部	幸子	増村	雄逸	庄司	久江	宮武	信子	十口	高橋	道正	一口	高橋	道正	一口	高橋	道正	一口
(高女三回生)		福山	博子	福山	博子	本間	久江	宮武	信子	十口	高橋	道正	一口	高橋	道正	一口	高橋	道正	一口
永原裕子	三口	高橋	通子	清水	和美	津金	恵美	臨光	哲也	三口	伊藤	三枝	二口	大高	俊子	一口	伊藤	三枝	二口
石上郁子	三口	高勝	雅子	(高校五回生)		佐藤	邦子	武藤	辰二郎	二口	伊藤	三枝	二口	大高	俊子	一口	伊藤	三枝	二口
山辺昭代	三口	(高校二回生)		岡安	敏枝	相徳	千恵子	平野	順子	二口	田辺	速夫	八口	柳原	敏子	八口	柳原	敏子	八口
小久保美子	三口	瀧下	純子	岡安	敏枝	小谷	野悦子	小多	芳江	二口	久保	敬子	三口	久保	敬子	三口	久保	敬子	三口
鷺谷喜美子	三口	杉本	純子	岡安	敏枝	小谷	野悦子	小多	芳江	二口	久保	敬子	三口	久保	敬子	三口	久保	敬子	三口
高山登志子	八口	泉	慶子	間藤	道子	赤井	洋子	服部	法子	三口	川添	洋子	三口	川添	洋子	三口	川添	洋子	三口
長谷川禎子	三口	増田	恵美子	野口	和子	赤井	洋子	服部	法子	三口	川添	洋子	三口	川添	洋子	三口	川添	洋子	三口
朝比奈弘子	三口	増田	恵美子	野口	和子	赤井	洋子	服部	法子	三口	川添	洋子	三口	川添	洋子	三口	川添	洋子	三口
柳沢敦子	三口	有馬	歌子	島野	和子	大島	良枝	南部	正光	八口	三宅	みどり	一口	三宅	みどり	一口	三宅	みどり	一口
谷井照代	八口	佐藤	佳子	高畠	礼子	茂木	英都子	浅賀	捷代	一口	須藤	博	三口	須藤	博	三口	須藤	博	三口
(高女二回生)		栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
桑田千鶴子	一口	小保	幸子	加藤	啓子	松	下樹裕	今村	享子	三口	岡	則子	二口	岡	則子	二口	岡	則子	二口
白石和子	一口	雨宮	瑠璃子	大久保	藤子	川	玲子	加藤	千恵子	一口	加藤	千恵子	一口	加藤	千恵子	一口	加藤	千恵子	一口
岡村千代子	三口	平方	陸子	島野	和子	大島	良枝	南部	正光	八口	三宅	みどり	一口	三宅	みどり	一口	三宅	みどり	一口
柳沢敦子	三口	有馬	歌子	高畠	礼子	茂木	英都子	浅賀	捷代	一口	須藤	博	三口	須藤	博	三口	須藤	博	三口
谷井照代	八口	佐藤	佳子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
(高女二回生)		栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
朝比奈弘子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
長谷川禎子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
真弓瑞恵	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
高山登志子	八口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
松垣静江	十口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
小久保美子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
鷺谷喜美子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
山辺昭代	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
石上郁子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
永原裕子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
土居玲子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
(高女三回生)		栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
市原康子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
川崎知恵子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
今井早苗	二口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
岩田道	八口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
中根サカエ	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
(高女四回生)		栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
宇賀絹子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
露口敏子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
林 いは	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
佐藤幸子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
荻原富貴江	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
水野常子	三口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口
西山と志	八口	栗田	依子	高岡	照子	渡辺	素子	遠藤	久代	一口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口	藤田	靖夫	二口

(高校十三回生) 石川 陽一 三口
 河崎 立枝 三口
 藤井美奈子 三口
 藤野 葉子 一口
 (高校三十四回生) 藤野 葉子 一口
 高橋 啓子 三口
 堀米 啓子 二口
 新美 敦子 一口
 (高校三十六回生) 高橋 啓子 三口
 松本 敏子 一口
 堀米 啓子 二口
 新美 敦子 一口
 青木 寛 三口
 渡辺 雅広 二口
 長野 滋 三口
 (高校三十四回生) 渡辺 雅広 二口
 竹村 裕 三口
 古閑 洋一 一口
 柏木 豊 三口
 門馬 宏 一口
 (高校十九回生) 渡辺 久美子 一口
 田辺 司 三口
 脇田 朋子 一口
 江連 弘子 三口
 山口 理恵 三口
 遠藤 清美 二口
 伊東 清美 二口
 佐久間 陽子 一口
 矢崎 晴子 三口
 (高校三十五回生) 北島 久司 三口
 小出 真知子 一口
 作間 敏明 一口
 笹川 修 三口
 (高校三十七回生) 上村 敬明 三口
 大田 三千代 一口
 渡部 英美 二口
 伊東 清美 二口
 佐久間 陽子 一口
 矢崎 晴子 三口
 (高校三十七回生) 岡 則子 二口
 千野 道子 三口
 加藤 千恵子 一口
 中村 理恵 三口
 三宅 みどり 一口
 斎藤 陸 三口
 小島 慶子 十三口
 永島 佳代子 二口
 (高校十五回生) 隅田 誠 三口
 風田 川禎男 二口
 川添 洋子 三口
 久保 長生 三口
 久保 敬子 三口
 柳原 敏子 八口
 吉谷 よね子 一口
 松下 房子 一口
 原田 澄代 三口
 加藤 澄夫 一口
 野口 哲男 一口
 荒木 美季 二口
 高坂 達郎 二口
 陶山 洋子 三口
 (高校二十二回生) 平田 英二 一口
 本山 卓夫 八口
 (高校二十三回生) 矢島 麻由美 一口
 (高校二十四回生) 大塚 章子 一口
 佐藤 健司 一口
 (高校三十三回生) 船見 千恵子 一口
 齊藤 友喜彦 一口
 高田 秀和 三口
 森 邦宏 三口
 (高校四十二回生) 日置 忠義 一口
 福山 貴代 五口
 鈴木 かつ恵 一口
 野原 孝士 一口